



善正寺だより

〒:512-0902
 三重県四日市市
 小杉町1014
 浄土真宗
 本願寺派
 善正寺
 ☎:0593-31-1670
 ☎:0593-32-0733

掲示板法話

千の風とはお慈悲の風 「あなたが大切だ」と温かさを運ぶ風



先月十五日ご本山の御正忌報恩講に十五名でお参りさせて頂きました。寒中にもかかわらず比較的暖かく、全国各地からの参詣者で満堂のにぎわいでした。国宝・鴻之間でのお斎接待で雅な雰囲気味わい、午後の法要は七条袈裟ご着用のご門主様が導師を勤められ、満堂の正信念仏偈唱和で盛り上がりました。引き続きご門主様のご親教(法話)があり、その冒頭で「昔はよかつた」と現状を嘆いているわけには行かない」という異例の厳しいお言葉があり、身の引き締まる思いが致しました。

新春早々、「私は生きるーJR福知山線事故から二年ー」というテレビ番組を見て感動を覚えた話を紹介します。

二〇〇五年四月、JR福知山線の列車脱線事故の際、意識不明の状態で見事救出された鈴木順子さん(当時三十才)の家族は、医者から死を覚悟するよう告げられていました。脳挫傷と全身打撲、口の中はガラス片で一杯、男女の区別もつかないほどだったのですが、家族は常に耳元で声をかけ、お氣に

入りの音楽を聞かせたりしながら懸命の看病を続けました。その結果事故から五カ月後の九月、初めて「お母さん」と言葉が発するようになり、徐々に意識が戻ってきたのです。

当初、医師は「万が一意識が戻ったとしても家族の識別もつかず、寝たきり状態です」と宣告されていたのですが、諦めず声をかけ続けた結果、脳に機能障害が残るものの、今ではよく笑い、よく食べるまでに回復したのです。

医師の診断では死を待っただけの重篤な患者さんが、家族の言葉と音楽で再生したのです。人は全ての機能を失っても最期まで聴覚だけは残り、記憶装置の底に蓄積された懐かしい声や音楽は生命を支え続けるという尊い証です。

人間にとって如何に言葉が大切か、再認識したことです。「昔はよかつた」と嘆いてばかりいないで、「縁を積極的に活かして温かい声をかけ合い、互いに心の通いあう大切さを教えられました。千の風とはお慈悲の風。あなたが大切だ」と我を呼ぶ温かさを運ぶ風です。

☆行事ご案内

2月17日(日)夜7時半 門信徒会例会

3月13日「三重組十三日講」をお迎えするに当たって、十三日講のいわれと行事さん・世話方さんの準備相談等長島・一向一揆の法難に起源を持つ十三日講の解説。

予告:☆3月13日(木)午前・午後

三重組十三日講 (9年ぶりに当山でお勤めする大事な法要です。皆様お誘い合わせて多数お参り下さい)

☆3月15(土)午後・夜、16(日)午後

春季永代経 (講師・奈良・尾崎裕正師)

☆三重組コーラス:2/23(土)夜7時半練習

※陽光苑慰問2/7(木)10時半誰でもOK。童謡懐メロ

◇日校:2月2日(土)4時より 新しいお友達もどうぞ!

◇一縁会テレホン法話11冊目の本『逃げたらあかん』発売中 059-354-1454へお電話を。3分間の法話の流れます

◇3/20(木)夜7時・三全仏教婦人会総会(光念寺様にて)

◇3/21(金)11時の部、中日劇場「法然と親鸞」バス観劇 (参加費1万2千円) 詳細は参加希望者に追って連絡



2008.1.16 善正寺報恩講お朝事最終日
和やかな雰囲気でお勤めしました



1.15 三重組十三日講代表参拜 善正寺15名

◇お悔やみ申し上げます★
 ★服部三智雄様(七十九歳・十二月二十八日亡) 最後は奥様の手厚い看病を受け自宅で往生されました。合掌

坊守スケッチ

親になりきれない大人達へ



夜十時頃、突然玄関のチャイムが鳴りました。「こんな遅くに誰かしら？」と開けてみると、中学生の少年でした。父親と喧嘩して家出てきたというのです。とりあえず中に入れ、ゆっくり話しを聞くことにしました。

夕方、父親が息子のケータイを借りてゲームをし始めました。息子のケータイは定額料金で、長時間ゲームをしても、料金が高額になりません。それで父親は息子のケータイを借用して、ゲームに熱中。息子は日に何十通も彼女からメールが来るのでイライラ。早く返信しないと、彼女から嫌われます。「早く返して」「まだ返さん。電話代は俺が払っているのだ」と両者とも譲らず、キレテ殴り合いの大喧嘩。その横で母親はただオロオロ。少年はいたたまれず家出。子供は案外冷静に親を観察し、批判します。父親が仕事のストレスを抱えていること。かつて父親自身も親に反発して勘当されたことなど。少年が小さい頃は、家族で毎週レジャーを楽しみ、友達のような親子関係で、幸せな生活を満喫していたのに、どこで歯車が狂ってしまったのでしょうか？結局母親にメールで連絡し、深夜遅く帰宅しました。しかし未だに少年は父親と口を利かず、食事も一人部屋で食べています。「父性喪失」

親子の仲直りがいつになるか分かりませんが、少年の駆け込み寺として、これからも温かく見守るつもりです。

ところで藤大慶先生が報恩講で『お母さん大好き』という作文を紹介されました。「僕はお母さんが大好きです。お母さんは僕が勉強すると喜びます。だから僕は一生懸命勉強して、いい大学へ入り、いい会社に就職してお金を貯め、お母さんをとびきりいい老人ホームに入れてあげたいと思います」

笑うに笑えない話です。実際ありうることもかもしれません。老人ホームの入居費用を出してくれるのだからまだまし、親の年金さえ当てにする子供もいる時代ですから。「わが子のため」と言っただけで死んでくれた結果がこれだったら、何か空しい気がしませんか？

団塊世代の人達は「嫁・姑の気苦労はしたくない。孫の守もしいし、子供に老後の世話もかけたたくない」といいます。その背景には「他人ならば迷惑かけてもよい。全とお金で解決できるから」という心が見え隠れします。年寄りや若い人達が一緒に暮らすのは、お互い遠慮もし、辛抱もしなければなりません。だから仏法を聞く気になれるのです。その代わり伝わるものがあります。自分達だけが気楽な生活を送るのではなく、「この苦勞があったからこそ、今の幸せがあるのだ！」と

いうことを、子や孫に口で言うのではなく、親ならば姿で見せたいものです。親の愛情に包まれた温かい家庭に育つ子供は、生涯どんな苦勞があるうとも、必ず乗り越えられることでしょう。

☆寄稿

四日市市 川崎 孝一

☆黒ぼこに さ縁映ゆる 麦の伸ぶ
年始の道辺 春遠からず

☆幽雅なるフルートで「春の海」
御堂の朋は 魅了の境地

☆歌うこと 「時子慕情」の 歌詞哀し
秘話は薩摩の かくれ念仏

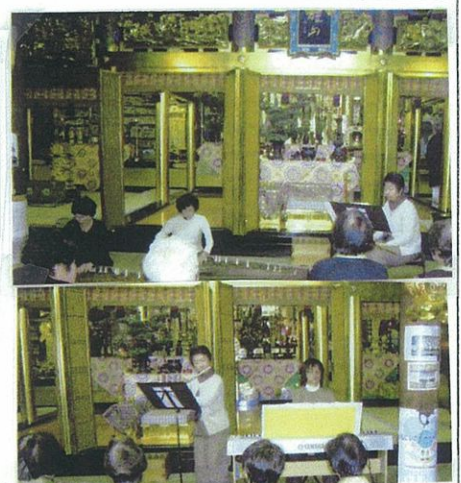
☆災厄は 自分以外の ものせい
煩惱の身と 気付くまで

☆生かされる いのちと常に
聞きながら 胸の骨折
弥陀のお叱り

☆カンパ有難う☆
前田正子様・澤田美智江様・本田和子様・島本邦子様・松岡愛子様・大林ゆき様の様・片山たか子様・岡田才子様・他匿名様数名よりお志や切手、葉書等を頂戴しました。

三重組コーラス♪
※二月七日(木) 午前十時半陽光苑
昨年二月より十一回目の慰問。誰でも参加OK。童謡、懐メロなど。

※二月二十三日(土)夜七時半練習
キッズサンガ・杉の子合唱団
◇二月二日(土) 午後四時より



☆ホットニュース☆

☆一月十一日(金)夜「報恩講」で、琴とフルートの共演『春の海』を披露。プロの演奏に皆感動！最後は全員で「ふるさと」千の風になって」を大合唱。
☆一月十五日(火)善正寺より十五名が、三月十三日「三重組十三日講」の初講会所のためバスで本山参拝。鴻の間でお斉を頂戴。帰路山科別院も参拝。

☆編集子より☆

「善正寺だより」第一七〇号をお届けします。◇「普通の風と千の風とどう違うの？」と孫に尋ねられた方から頂いたお便りがヒントになり、今月の「掲示板法語」が生まれました。有難いことです。◇それに引替え、教育ママに育てられた子供が「大好きなお母さんをとっておきの老人ホームに入れてあげたい」と作文に書くとはびっくり仰天です。◇子供は大人社会の裏表を鋭敏に感じ取っています。テレビ番組の倫理も地に落ちた感じがしますが、仏の眼に映る我が姿を省みつ今年も努めたい。合掌。

2月14日はバレンタインデーです。全国各地に義理チョコが氾濫します。法友で呉市在住の石橋寿美さんは我が子に「バレンタインよりもお釈迦様がとくなられた2月15日の涅槃會をチョコにしよう。3月14日のホワイトデーよりも少し待って彼岸會をチョコにしよう。それが真実門徒のたしなみよ」と教えたそうです。息子さんから「花まつりやキヤ降誕會がプレゼントも欲しいなあ」と言われ大笑い。ご主人とスパーへ出かけた時もお父さんと呼ぶと世間のお父さんが全て振り向くので「おのっさん」と法名で呼んだエピソードも。環境問題にも熱心な彼女の自由自在な行動力とエニア精神が生活の随所に仏道として生かされていることに敬服します。先日発売された一縁會で「法華經を逃げたらあかん」と読んだ私の友人が「逃げたらあかん。如来さまが一緒に背負って下さる」という一文を見て「どうしたら如来さまと一緒に背負って下さるといふ心境になれるの？」と質問してきました。彼女は「一度もお寺参りをしたことがありません。もまれねばこの味は出ぬ。新茶かな」といふ俳句からも分かるように幾多の苦勞を乗り越えた人がこれに我が力では困難なこと、多くの人の支えがあればこそできたこと、おかげさまでしたと感じとる世界よ、一朝一夕では経験できないことよと私流に返答しました。報恩講夜の演奏會の若い養老の方をも「ステージでは経験できない聴衆の温かい心の絆を感じた」と嬉しい感想を報告下さいました。「寺友との心の絆は一日して成らず。回を重ねることによそ如来さまと一緒に背負って下さる道を進ませる頂けるのですね。三月は學びみな法座の連続。3月13日午前午後三重組十三日講。3月16日永代經。どうかお誘い合わせてお参り下さいませ。三重組クラスは2月23日夜、陽光苑を会場です。ご協力よろしくお願ひします。平成二十年二月 合掌 善正寺坊守持